

外部講師による特色ある取り組み

【保健講話】 6月12日（水）に1年生対象の「保健講話」を実施しました。思春期における望ましい人間関係を築く方法や、学校生活で体験する様々なストレスへの対処法などについてより理解を深めることで、心身ともに健全な高校生活を送ることが目的です。



講師に北海道教育大学旭川校教授 萩原 拓先生をお招きし、思春期特有の高校生の悩みとその解消法についてご講話をいただきました。萩原先生は日本の大学をご卒業後、米国でも専門の研究をなされ、若い世代特有の心理状態やそれに至るまでの複雑な要因、またそれを解決していくための対処法などについて深く研究されました。

ご講演では「軽度発達障害」のお話にはじまり、「人間関係の難しさとその仕組み」、「対人関係に起因する悩みとその解消策」、「ストレスとの関わりとその対処法」など、大人への過渡期に誰もが経験する心の不安や悩みとどう向き合えば良いかについてご講話をいただきました。

皆さんには、望ましい人間関係を築きより充実した高校生活を送ってくださることを願っています。



【オールイングリッシュで「地理A（現代社会）」学習】



6月12日（水）に旭川市国際交流員の Kenton・knop さんをお招きし、「地理A」の授業をTT形式のオールイングリッシュで行いました。

アメリカの文化・生活様式の紹介・日本の印象・外国語の習得方法・進路決定・アメリカの高校生などについて、プロジェクターを用いながらわかりやすくご説明いただきました。

授業の趣旨は、異国の講師による異国語での異国文化の説明を通して、生徒の視野を広げ幅広い考え方を持ってもらうことです。

Kenton・knop さんは日本に来てまだ10ヶ月ですが流暢な日本語に驚きました。日本への興味・関心が外国語習得に大きく影響する証です。現在弁護士の道を目指しているとのことで、進路決定にも揺るぎない信念を感じる素晴らしい授業でした。

